

明治大学マンドリン倶楽部とご縁

日曜日はみなさん出演ありがとうございました。リハーサルの時間は30分はあるはずだったのが、ずっと待たされ、10分もなく、まさにぶっつけ本番。ではありましたが、日本丸の底力、火事場の馬鹿力、何とか及第点が取れたようです。ごくろうさまでした。



もっと早くご説明しておくべきだったのですが、ご縁についてしたためます。本演奏会は、明治大学校友会横浜地域支部の主催です。合唱団の初代団長B2岡本順太郎さんが横浜地域支部の事務局長だった縁で、賛助出演の話が来ました。大町キャプテンも乗り気で、2004年の7月、県民ホールで歌いました。メインゲストは大川栄策さん、われわれの方が拍手が多かったかも、といったら叱られそう。

横浜でのコンサートは2年に1回開催されており、その4年後にも声がかかりました。2008年の10月、メインゲストは雪村いづみさん。大町キャプテンが「いづみちゃん」と呼ぶのを聞いて、スゲーなーと思ったものです。



その後、順太郎さん、大町さんと天に召され、しばらく声がかかりませんでした。2020年にT2鈴木昭さんを通じて声がかかりました。ところがコロナ、すべてが中止となりました。2022年は演奏会は成立したものの学生諸君の仕上がりが不十分とまで2年待ちました。そしてこのたび、ようやくリベンジ出演に至りました。

学生さんたち

打上げは、内田幹事長の進行で、短い挨拶3人(支部長、トワエモア、合唱団)、甲斐靖文音楽監督・常任指揮者の乾杯のあと、1時間ほど懇談の時間がありました。そこで、学生さんたちと話す機会もありました。みなさんいろいろ話されたようですが、集め切れてないので、ほんの一部を書き残します。



明治大学マンドリン倶楽部は1923年創立で、ことし102年目。今年194・195回目の定期演奏会に加え、今回のような校友会主催の演奏会が年に50回ほど。神奈川県民ホールでの演奏会の前日は東京都北区北とぴあ・さくらホール、その前々日は東京都墨田区曳舟文化センターと3連荘。

今回は1-2年生主体で組んだとのこと、1年生13名、2年生14名、3年生6名、4年生6名、そしてOBOGが数名。しかも1年生13名のうち入学前の経験者は1名のみ、12名は半年でここまで演奏できるようになりました。コンマスの阪口緑さん(情報コミュニケーション学部4年)も入学入団後初めてマンドリンを手に取ったとか。学生指揮者の小川侑哉君(理学部4年)は大学院進学で、OBとして支援するようです。

練習は駿河台キャンパスの部室。1年生2年生は和泉キャンパスで講義を受け、農学部理工学部は全学年生田キャンパスのため、練習のための往復の時間と交通費がたいへん。

オーケストラ構成

マンドリン、マンドーラ、マンチェロは、一般オケのバイオリン、ビオラ、チェロの音域に相当するそうです。加えて、ギター、パーカッション、コントラバス、ピアノ、アコーディオン、シンセサイザーで構成されています。



最後の県民ホールなので、集合写真